令和８年第４回定例会　質疑通告一覧表　Ｒ８．11．11

順	通告者	質疑の内容	答弁者
―	江尻　加那 （日本共産党） ・一括方式	1　第121号議案ないし第123号議案　県有財産の取得について（パーソナルコンピュータ） (1) 本県において、１人１台端末の活用が真に「個別最適な学びや協働的な学び」として教育の質の向上や子どもの学力向上につながっているか、教育現場でどのような検証を行い、どのような課題が現場から上がってきているか伺う。「タブレット教育は廃止、縮小、見直すべき」という教育関係者や保護者などからの意見をどう受け止めるか伺う。 (2) 計３０５１台の端末取得費である２億６７８０万円余（端末１台あたり教師用２０万円、生徒用６万円）の財源内訳を伺う。今後も５年ごとの更新のたびに多額の費用がかかることに対して、国の財政措置責任が明確に示されていないことは大きな問題であると考えるがどうか。 (3) 県立高校の生徒用タブレットについて、これまでも県が一括購入・管理して生徒に貸与するよう求めてきたが、そうした考えはないか伺う。合わせて、県が実施する経済困難世帯の高校生への購入費補助や端末の貸し出しは対象人数が少ないと考えるが、それぞれ生徒数全体の何パーセントの生徒が救済されているのか実態を伺う。	教育長